

本日、ここに平成29年市議会12月会議が開会されるにあたり、最近の市政の状況と提案いたしました補正予算をはじめとする諸議案につきまして、その大要をご説明申し上げます。

去る10月、小川議長をはじめ、関係団体の代表の方々とともに、友好都市ドイツ・ラウンハイム市及びパリのユネスコ本部を訪れるとともに、アイルランドの世界ジオパークを視察してまいりました。

最初の訪問地、ラウンハイム市では、友好都市提携20周年の記念と今後のさらなる交流発展を誓い、友好協定の再調印を行ったほか、ラウンハイム市が取り組んでいる世界7都市がインターネット上でつながり、留学や就職、企業進出など、多くの分野で情報のやりとりが出来る「都市間ネットワーク」に参加いたしましたところであり、今後、こうした新しいスタイルによる交流も図りながら、本市の魅力を世界レベルで発信してまいりたいと考えております。

これに併せ、在フランクフルト総領事館を表敬訪問し、その際に神山総領事より、現在、観光庁が進めている「ビジット・ジャパン地方連携事業」の一環として、東京と金沢、白山両市を組み合わせた商品企画「東京プラスワン」について説明をいただきました。本市のインバウンドの足掛かりとなる大変有意義なお話を伺うことができたところであり、神山総領事が年度内に一時帰国されますので、本市にお招きをし、具体的なアドバイスをいただきたいと考えております。

次の訪問地でありますパリのユネスコ本部では、ユネスコ国際地球科学ジオパーク計画事務局長であるパトリック・マッキーバー氏と面談をし、本市のジオパークの活動状況を説明してまいりました。世界ジオパークの審査員を務めるマッキーバー氏からは、「ユネスコはジオパーク活動で防災を重要なテーマにしている」との新たな視点が示されました。本市が取り組む多面的な防災の取り組みを生かすことができることから、世界認定に向けた大きな足掛かりができたことを強くしたところでもあります。また、同席をされましたユネスコ自然科学局エコパーク事業チーフのノエリン氏からも、ジオパークとエコパークの連携の重要性について、指摘をいた

だいたところであります。これらのアドバイスを今後の取組みに十分反映させるとともに、特に、ユネスコが求める防災活動について、年内にも、ユネスコ本部の災害リスク低減計画専門官から助言をいただくことといたしております。

最終の訪問地となりましたアイルランドでは、世界ジオパークの先進地として名高いバレン・モハー断崖ジオパークを視察いたしました。このジオパークは、市民活動が非常に盛んであり、エコツーリズムネットワークなどを通じ、ジオパークに理解のある人が多く、イベント運営や観光事業にジオパークの精神がしっかりと息づいております。本市のジオパークの取組みにつきましても、こうした市民や企業の十分な理解と協力体制が欠かせないことから、来年度、個人を含む民間企業を中心とする新たな制度を創設するため、検討を始めたところであります。いずれにいたしましても、ユネスコ世界ジオパークは、国連の持続可能な開発目標、SDGsをベースとし、地質の保全をはじめとする自然災害、教育、文化などの各分野に焦点を当て、地球の未来を考える取組みを推進しております。本市といたしましても、今回の一連の訪問を踏まえ、今後、市民や企業へのさらなる機運の醸成を図りながら、世界認定に向けた様々な取組みに果敢に挑戦してまいりたいと考えております。

次に、我が国の経済情勢と本市の企業活動についてであります。

先月、発表されました内閣府の景気動向判断基調によりますと、景気回復が58か月に達し、高度経済成長期の「いざなぎ景気」を超え、戦後2番目の長さになったところであります。株価におきましても、26年ぶりにバブル崩壊後の最高値を記録したところでもあります。さらに、7月から9月期の国内総生産、GDPの速報値が16年ぶりとなる7期連続のプラス成長を記録するなど、日本経済は成長を続け、景気回復が鮮明になっております。しかしながら、依然として給与水準が低調であり、消費に力強さを欠くなど、実体経済の好循環を実感するまでには至っていないのが現状であり、政府には、デフレ脱却と経済再生の早期実現を目指す、さらなる経済対策の実行を期待するところでもあります。

本市におきましても、市内企業の業績は、楽観はできないものの、概ね好調であり、企業の立地も順調に進んでおります。山島工業団地におきましては、先月22日に半導体製造検査装置のセラミックス基板などを製造する株式会社フェローテッ

クセラミックスの開発センターが竣工し、年明けの操業開始に向け準備を行っております。また、工場内の自動化搬送装置を製造するサンディーネットワーク及び木材乾燥機の国内トップメーカーの株式会社ヤスジマも近々竣工となり、さらに、今年の夏に進出表明をいたしましたステンレス鋼板の切断加工を手掛ける株式会社ビーケーティが年明けにも工場建設に着手する予定であります。市内企業全体といたしましても、活発な設備投資が行われており、今後の地域経済の活性化が進むものと期待をしているところであります。

それでは、最近の市政の状況について、ご説明を申し上げます。

はじめに、白山総合車両所等を活用した観光・産業振興ビジョンと自由民主党プロジェクトチームにおける協議についてであります。

先月24日、自由民主党「新幹線車両所の活用による観光・産業振興」プロジェクトチームが衆議院選挙後、初の会合を開き、支援策についての協議を再開いたしました。

私も小川議長とともに、プロジェクトチームの会議に出席し、本市が地域振興策の柱として検討いたしております白山総合車両所及び在来線の金沢総合車両所での観光客向けの「ビジターセンター」の設置や両車両所の公開日数を大幅に増やすことなどについて提案をするとともに、今年度末を目途に本市、能美市、野々市市、川北町の3市1町で策定を進めております白山総合車両所等を活用した観光・産業振興ビジョンにつきましても、その基本方針を説明してまいったところであります。プロジェクトチームは、年内にも一定の方向性をまとめたいたとの意向でありますので、しっかりと本市の考えを伝える中で、議論が進展することを期待しております。いずれにいたしましても、振興ビジョン策定にあたっては、これまで、3市1町がそれぞれに様々な協議を重ね、地元にとって最善の振興策を模索してまいったところであります。今後とも引き続き、その具体化に向け、関係機関等に強く働きかけてまいる所存であります。

次に、「対話と参加」の市政を推進するため実施しております「まちづくり会議」についてであります。

今年度、公民館単位で開催してまいりました「まちづくり会議」につきましては、

先月末で、28公民館、全ての会議を終了いたしました。今回は、地域の様々な団体の代表の方々に参加をいただき、「市民協働で創るまちづくり」を共通テーマとして、意見交換を行い、地域全体で担う新たなコミュニティ組織の必要性や地域の活動に対する財政支援策などについて、代表者の視点から、様々なご意見やご提言をいただいたところであり、これらの貴重なご意見等につきましては、課題を整理したうえで、今年度中に各地区合同の意見交換会を行い、議論を深めてまいります。「市民協働で創るまちづくり」は、まだ準備段階であります。より良いものとするためには、地域の中での理解をさらに深める必要があります。市といたしましては、引き続き、議論を尽くしてまいりたいと考えております。会議では、それ以外の地域の課題等についても、数多くの要望をいただきましたので、これらにつきましても、十分に精査を行い、可能なものについては、新年度予算に反映してまいりたいと考えております。

次に、防災関連についてであります。

「白山市津波避難計画」につきましては、国が設定した津波断層モデルに基づき、今年5月に、石川県が津波浸水想定区域を見直したことを受け、「白山市地域防災計画」の津波災害対策編の修正に併せ、新たに策定をいたしましたものであり、先月6日の白山市防災会議において、承認されたところであります。県の見直しは、最大津波高を従来の想定から下方修正したものであり、本市の計画においても、最大津波高を県の想定に合わせ、設定したところであります。この見直しにより、浸水想定面積は、見直し前とほとんど変わっておりませんが、今回策定した「津波避難計画」は、新たに避難対象地域や指定緊急避難場所等を定めており、今後、関係地域への周知徹底を図ってまいりたいと考えております。なお、津波ハザードマップにつきましても、見直しを反映し、今年度中に、浸水想定区域をはじめとする沿岸部の各世帯に対し、配布することといたしております。

次に、除雪についてであります。本格的な雪のシーズンを迎え、先月19日、白峰地域では、昨年より21日早く、この冬初めての除雪車が出動いたしました。本市の除雪体制につきましては、本年度、主要幹線市道やバス路線、通学路を中心に総延長約528キロメートルの市道除雪を行うこととしており、民間業者が借上げる

除雪機械を増強するなど、体制の強化を図っております。また、歩道除雪につきましても、延長約3キロメートルを拡大し、総延長約87キロメートルを除雪することといたしており、児童生徒をはじめとする歩行者の安全確保を図ってまいります。除雪にあたりましては、最新の気象情報を注視しながら、国、県等の関係機関と連携し、市民の生活に支障がないよう努めてまいります。市内全ての道路を除雪することは困難でありますので、町内の生活道路などの除雪につきましては、引き続き、地域ぐるみの対応、協力をお願いするものであります。

次に、「夜間小児救急医療」の共同運営についてであります。

石川中央都市圏を構成する本市及び金沢市、かほく市、野々市市、津幡町、内灘町の6つの市町が連携中枢都市圏事業の一環として、協議を進めてまいりました「夜間小児救急医療」の共同運営につきましては、去る10月に費用負担の考え方など、運営に関する基本的事項について、合意締結を行ったところであります。今回、共同運営となります小児科につきましては、「金沢市駅西福祉健康センター」の1階に整備する「金沢広域急病センター」に設置され、年明けに設立する「(仮称)石川中央こども初期救急医療協議会」が運営を担うものであります。自治体の広域連携により、輪番制の医師が増え、診療体制の充実が図られることから、子育て家庭の安心につながるものと考えております。このセンターは来年4月の開設を目指し、年内の完成を目途に、鋭意、改修工事を進めており、年明けから医療機器の設置や電子カルテの導入などを行う予定であります。また、住民や関係機関等への周知につきましても、関係市町及び協議会におきまして、ホームページや新たに作成するリーフレットなどを通じて、広くお知らせすることといたしております。

次に、放課後児童クラブの施設整備についてであります。

国が入所要件を小学校6年生までに拡大したことに加え、宅地開発などにより入所児童が著しく増加をしていることから、子どもたちが、安全で快適に過ごすことが出来る環境を保持するため、計画的に施設の整備を行うこととしております。今年度につきましても、7月の国の交付金内示を受け、旭丘小学校及び蕪城小学校区において、新たな施設を建設することといたしており、現在、来年4月の供用開始を目指し、旭丘小学校では、敷地内の現有施設の隣接地において、工事を進めてお

り、蕪城小学校においては、建設中の第二体育館一階部分での工事着手に向け、鋭意準備を進めているところであります。今後も引き続き、入所児童の増加に適切に対処してまいり所存であります。

次に、「白山開山1300年記念事業」についてであります。

10月21日、22日の両日、JR松任駅前におきまして、「白山の恵みフェア」を開催いたしました。あいにく22日は、台風の影響で強風に悩まされましたが、白山ゆかりの特産品や伝統文化を楽しむことが出来るブースが軒を連ね、多くの来場者で賑わったところであります。併せて、22日に松任学習センターで実施いたしました「白山シンポジウム」では、國學院大學の椛山林継名誉教授をお招きし、「水の恵みと白山信仰」と題し、ご講演をいただいたほか、パネルディスカッションでは、私を含め、環白山地域の各首長がパネリストとなり、白山を取り巻く自治体の連携について、今後の展望を語るなど、白山の恩恵に感謝をし、さらなる100年に思いを馳せる、非常に意義のある催しとなりました。さらに、「笑顔でつなぐ」をテーマに7200人の笑顔の写真を集めて制作した、白山のモザイクアートは、来場の皆様から、大変、好評を得たところであり、現在、「白山開山1300年アート」といたしまして、市役所本庁舎1階に展示いたしております。市民の皆さんにおかれましても、市役所にお越しの際には、是非一度、ご覧いただければと思っております。また、今年度の集大成となる記念事業であります。来春の3月4日に「白山検定」を行うこととしており、先月20日から申込みの受付を開始いたしましたところであります。そのための、「白山検定参考書」を発刊しておりますので、白山市についての幅広い知識を身に付け、ふるさと白山の知識を深め、郷土愛を醸成する機会としていただきたいと思いますと思っております。

次に、道の駅「めぐみ白山」についてであります。

先月5日に開業の気運を高めるため、福祉ふれあいセンターにおいて、「いしかわ道の駅フェス・イン白山」を開催いたしました。この催しには、県内から多数の道の駅が集まり、ご当地グルメや特産品の展示販売を行い、多くの皆様にご来場いただき、賑わいを見せたところであります。また、併せて開催いたしました「めぐみ白山」の開業を考えるシンポジウムでは、全国道の駅有識者懇談会の委員長であり、

筑波大学名誉教授の石田東生先生をお招きし、「道の駅と地方創生」と題し、ご講演をいただきました。今や地域振興には欠かせない道の駅の役割と重要性について、貴重なお話しをお伺いすることができ、改めてその必要性を認識したところであります。

道の駅「めぐみ白山」は、先月17日に国土交通省の全国の「道の駅」に正式登録され、今月1日に登録証が伝達をされたところであります。現場の工事も順調に進み、建物につきましては、先月末に完成し、今後、広場の修景工事や建物周辺の舗装工事などを進め、年度内の完成を目指してまいります。また、市内経済団体に委託事業者の選定をお願いしておりましたレストランにつきましては、今月1日に株式会社「ハチバン」と指定管理者である株式会社「めぐみ白山」との間で出店に係る契約を締結いたしましたところであります。同社は北陸を中心に国内外にラーメン店を250店舗以上、さらには、地産地消を売りにしたレストランなども展開しており、道の駅においても、地域産品を活用したメニューの開発などに、そのノウハウを発揮していただけるものと期待をいたしております。さらに、地場産品売場につきましては、市内両JAが共同で運営をしていくこととしており、運営面についても、開業に向けた準備を鋭意進めているところであります。

次に、白山市都市計画マスタープランの改定及び白山市立地適正化計画の策定についてであります。

本市のまちづくりの基本方針を定める都市計画マスタープランは、現行の計画が平成31年度で目標期間を終えることから、平成32年度からの新たな10年間の計画期間とするマスタープランの策定作業を進めることといたしております。社会情勢の変化に対応しつつ、長期的視点に立った、本市が目指すべき都市の将来像をしっかりと見定め、実効性のある計画を目指してまいります。

また、「立地適正化計画」につきましては、都市再生特別措置法に基づき、国が制度化をしたものであり、本市においては、平成32年度から概ね20年間の計画とし、今回、新たに策定をするものであります。この計画は、人口減少及び高齢社会においても、持続可能な都市経営ができるコンパクトなまちづくりへの誘導を目的とするものであります。広い市域を有する本市といたしましては、その地域特性を十

分踏まえ、計画を策定してまいりたいと考えております。

次に、消防団の装備及び消防施設等の充実についてであります。

市民の生命や財産を守るため、火災など、災害時に迅速な対応をいただいております消防団におきましては、今年度、全団員の活動服を国の新基準に適合した活動服に更新をさせていただいたところであり、先月の12日に鶴来総合文化会館クレインで行われた消防団巡回パレードにおいて、お披露目を行いました。消防の象徴カラーであるオレンジを基調に背中には大きく白山市消防団の文字を配するなど、デザイン性及び機能性の向上が図られ、団員の士気高揚にも繋がるものであります。また、消防施設等の整備についても計画的に進めております。蔵山分団の消防ポンプ自動車を更新するとともに、一ノ宮分団の消防ポンプ自動車格納庫も、先般、完成し、供用を開始したところであります。今後とも、市民の安全安心を第一に、地域防災力の強化充実に努めてまいりたいと考えております。

次に、小中学校におけるタイムレコーダーの導入についてであります。

昨今、全国的に教職員の長時間勤務が問題となっており、その是正が喫緊の課題となっております。本市においては、これまでも、教職員の負担軽減を図るため、特別支援教育支援員や事務補助員の増員、各種報告書の精選、削減などに、鋭意取り組んでまいったところであります。さらには、今年の3月には「白山市部活動の休養日に関するガイドライン」を策定し、原則、週休日のどちらかに休養日を設けるなど、業務改善を図ったところであります。このような中、国より、教職員の勤務時間の適正管理や客観的かつ正確に勤務時間を把握し、更なる業務改善の推進を目的とした、「学校における働き方改革に係る緊急提言」が示されました。本市におきましても、その重要性に鑑み、早急な対応を行いたいと考えており、市内全小中学校にタイムレコーダーを導入することとし、今会議に所要の経費について、補正予算をお願いするものであります。なお、導入にあたりましては、来年3月の試行期間を経て、新年度からの本格運用を目指すものであります。

次に、白山野々市広域消防通信指令システムの更新についてであります。

消防通信指令システムは、市民の安全をあずかる消防にとって、必要不可欠なものであります。現行の広域消防通信指令システムは、運用開始から7年が経過し、



コンピュータの機能低下に加え、部品の調達にも支障が出始めるなど、更新時期が近づいている現状であります。こうした状況の中、白山野々市広域事務組合では、システムを常に万全な状態に保つため、来年度、システムの更新に着手することとし、先般、10月の組合議会において、2か年の更新計画を示したところであります。これにより、市民の皆様の安全安心の確保はもとより、管内全域における災害対応力の向上が図られるものであり、また、本年4月に組合に加入いたしました川北町における川北分署の指令システムについても一元化が図られることとなります。さらに、広域化の推進に伴い、国の交付金や有利な起債の活用が可能となるなど、財政負担の軽減にもつながることから、広域運営のメリットが十分に発揮されるものであります。今後とも、構成市町間のさらなる連携を図り、市民の皆様の安心感の向上に努めてまいりたいと考えております。

次に、平成30年度当初予算編成の考え方についてであります。

本市におきましては、少子高齢が進展する中、福祉や保健、医療などに係る扶助費に加え、これまでの経済対策などで発行した市債の償還、いわゆる公債費といった歳出の義務的経費が年々増加し、歳入においても、平成27年度から平成32年度にかけて、普通交付税の合併特例措置が段階的に縮減をされることから、一般財源の減少が見込まれ、財政調整基金からの繰入に頼らざるを得ない、極めて厳しい財政状況が続くと想定をされます。こうした状況のなか、平成30年度当初予算につきましては、「第2次白山市総合計画」に掲げる将来都市像「健康で笑顔あふれる元気都市白山」の実現に向けた、さらなる取組みを推進するため、限りある財源を有効に活用し、効果的な事業展開ができるよう、創意と工夫を凝らしたメリハリのきいた予算を編成してまいりたいと考えております。人も自然も産業も、全てが健康で笑顔があふれる元気な白山市をさらに実感できる施策の展開を図ってまいり所存であります。

それでは、提案いたしました諸議案につきまして、ご説明申し上げます。

提出案件は、補正予算案3件、条例案5件、事件処分案8件、報告案件1件の計17件であります。

はじめに、議案第91号から93号までの平成29年度補正予算案についてであ

ります。

まず、一般会計につきましては、補正予算総額10億1,100万円余となるものであります。その主なものといたしましては、総務費では、定住促進奨励金及び高齢者運転免許証自主返納事業に係る支援費に不足が生じたため、また、民生費では、子育て支援医療給付費並びに法人保育園運営補助金に不足が生じるため追加の補正を行うものであります。農林水産業費では、国の内示に伴う環境保全型農業支援対策事業補助金につきまして、補正を行うほか、美川漁港の航路浚渫工事費については、本年4月の降雨、波浪により、緊急に浚渫工事を行ったことにより、今後の浚渫工事費に不足が見込まれることから追加補正を行うものであります。さらに、商工費では、商店街賑わい創出事業補助金及び国より追加の割り当て内示がありました白峰重要伝統的建造物群環境整備事業に係る所要の経費を補正計上するほか、教育費では、不足が見込まれる要保護・準要保護児童生徒就学援助費及び全国大会の出場などに伴い、中学校の体育連盟並びに文化連盟に対する補助金に不足が生じたため追加補正を行うものであります。農林水産業施設災害復旧費につきましては、7月の豪雨や8月の台風5号で被災した農業用施設や林道等につきまして、国の補助災害復旧事業の採択となりましたので、復旧工事に係る所要の経費をそれぞれ補正計上いたすものであります。

次に、特別会計及び事業会計につきましては、国民健康保険特別会計において、療養給付費等負担金の返還金などを計上するほか、介護保険特別会計については、国庫補助金の内示がありました地域介護・福祉空間整備事業補助金及び不足が見込まれる要支援者に係る訪問・通所介護事業費について、それぞれ補正計上するものであります。

次に、議案第94号から98号までの条例案につきまして、その主なものをご説明申し上げます。

「白山市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例」につきましては、地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、非常勤職員における育児休業について、関係規定を改正するものであり、「白山市墓地公苑条例の一部を改正する条例」につきましては、湊墓地公苑の拡張に伴い、墓地の使用について関係規

定を改正するものであります。また、「白山市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例」につきましては、地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律に基づき、石川県が基本計画を作成し、国の同意を受けたため、関係規定を改正するものであります。

次に、議案第99号から106号までの事件処分案につきまして、その主なものをご説明申し上げます。

「指定管理者の指定」につきましては、地方自治法の規定に基づき、施設の指定管理者となる団体の名称及び指定の期間について、また、「財産の譲渡」については、集会所及び公園の用に供するため、市の所有地を小柳町町内会へ無償譲渡することについて、それぞれ議会の議決を求めるものであります。

次に、報告第14号の専決処分の報告につきましては、10月22日執行の衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査に伴う平成29年度白山市一般会計補正予算第3号に係る専決処分について、地方自治法の定めにより、議会へ報告するものであります。

以上をもちまして、12月会議に提出いたしました議案の説明を終わりますが、何卒慎重にご審議の上、適切なるご決議を賜りますようお願いいたします。